

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 大  
 コード番号 6837 URL <http://www.kyosha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,606	△2.7	527	17.6	607	17.9	296	△16.0
24年3月期第3四半期	11,925	△4.7	448	△42.4	515	△33.3	353	△24.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 350百万円( 46.4%) 24年3月期第3四半期 239百万円( 8.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	20.71	—
24年3月期第3四半期	24.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,249	3,559	33.8
24年3月期	11,458	3,346	28.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,460百万円 24年3月期 3,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△7.2	550	△23.2	650	△18.4	320	△47.9	22.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	14,624,000株	24年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	290,769株	24年3月期	289,750株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	14,333,666株	24年3月期3Q	14,334,250株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結損益計算書関係)	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界におきましては、自動車関連分野で国内外ともに堅調に推移し、スマートフォンやタブレット型携帯端末等の分野で成長が見られたものの、薄型テレビ等映像関連分野や家電製品分野を中心に需要の低迷が続き、欧州の金融不安を背景に中国、アジアにおいても輸出の伸びが鈍化するなど、環境は依然不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、片面プリント配線板は国内外で自動車関連分野が好調に推移し、電子部品分野やアミューズメント分野等でも回復が見られたものの、国内で家電製品分野の需要減少と海外で映像関連分野の低迷が続いたため、売上高は5,931百万円(前年同四半期比8.7%減562百万円の減収)となりました。両面プリント配線板は、自動車関連分野の受注が国内外ともに好調を維持したほか、海外で事務機分野の回復が続き、国内では省エネ製品のLED照明等の家電製品分野の需要が引続き堅調だったことから、売上高は4,163百万円(前年同四半期比10.0%増377百万円の増収)となりました。その他の売上高は、実装関連分野でスマートフォンやタブレット型携帯端末向け搬送用治具の拡販が好調に推移したものの、実装事業の低迷により売上高は、1,511百万円(前年同四半期比8.1%減133百万円の減収)となりました。この結果、連結売上高は、11,606百万円(前年同四半期比2.7%減319百万円の減収)となりました。

利益面については、国内は実装事業の低迷の影響を受けたものの両面プリント配線板や搬送用治具が好調に推移したことによる増収効果等により、前年同四半期を上回りました。海外では、中国で販売が好調に推移したことに加え、原価の低減も進み前年同四半期を上回りました。インドネシアは、主力の映像関連向けの需要減が影響し、前年同四半期を下回りました。以上の結果、国内及び中国の改善により、営業利益は527百万円(前年同四半期比17.6%増78百万円の増益)となりました。経常利益についても同様に国内と中国の堅調により607百万円(前年同四半期比17.9%増92百万円の増益)となりました。四半期純利益は、当社が保有する投資有価証券の減損処理48百万円と実装事業子会社で固定資産減損損失75百万円を特別損失に計上し、また、同実装事業子会社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討し、回収が見込めない繰延税金資産56百万円を取崩した結果、296百万円(前年同四半期比16.0%減56百万円の減益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の減少727百万円、受取手形及び売掛金の減少234百万円、原材料及び貯蔵品の減少151百万円等により、10,249百万円(前連結会計年度末比1,209百万円の減少)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の減少401百万円、短期借入金の減少789百万円、長期借入金の減少258百万円等により、6,690百万円(前連結会計年度末比1,422百万円の減少)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金が225百万円増加したことにより、3,559百万円(前連結会計年度末比212百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成24年5月10日に公表しました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「通期連結業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる影響額は僅少であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,315,398	2,587,579
受取手形及び売掛金	3,073,732	2,839,161
製品	310,061	336,710
仕掛品	309,935	285,150
原材料及び貯蔵品	727,127	575,413
繰延税金資産	72,526	61,486
その他	255,467	271,074
貸倒引当金	△14,864	△32,239
流動資産合計	8,049,385	6,924,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,728,641	2,781,731
減価償却累計額	△1,859,167	△1,950,327
建物及び構築物(純額)	869,473	831,404
機械装置及び運搬具	5,480,889	5,596,097
減価償却累計額	△4,379,610	△4,541,771
機械装置及び運搬具(純額)	1,101,279	1,054,325
土地	602,122	570,309
建設仮勘定	12,340	168,285
その他	733,044	808,207
減価償却累計額	△624,034	△681,275
その他(純額)	109,009	126,931
有形固定資産合計	2,694,226	2,751,257
無形固定資産	18,673	17,144
投資その他の資産		
投資有価証券	230,952	176,584
繰延税金資産	74,079	66,572
その他	391,565	313,668
貸倒引当金	△393	△146
投資その他の資産合計	696,204	556,678
固定資産合計	3,409,104	3,325,081
資産合計	11,458,490	10,249,418

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,689,244	2,287,927
短期借入金	2,150,028	1,360,126
1年内返済予定の長期借入金	742,750	717,750
リース債務	20,569	17,683
未払法人税等	28,365	134,577
賞与引当金	127,852	91,276
その他	379,463	392,112
流動負債合計	6,138,274	5,001,454
固定負債		
長期借入金	1,478,750	1,220,490
リース債務	19,708	7,108
退職給付引当金	110,974	149,600
役員退職慰労引当金	4,508	5,633
負ののれん	79,143	31,657
繰延税金負債	20,663	15,810
その他	260,076	258,309
固定負債合計	1,973,825	1,688,611
負債合計	8,112,099	6,690,065
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102,433	1,102,433
資本剰余金	1,153,716	1,153,716
利益剰余金	1,605,104	1,830,329
自己株式	△31,287	△31,457
株主資本合計	3,829,967	4,055,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,917	3,801
繰延ヘッジ損益	—	594
為替換算調整勘定	△627,515	△599,100
その他の包括利益累計額合計	△611,598	△594,704
少数株主持分	128,022	99,036
純資産合計	3,346,390	3,559,353
負債純資産合計	11,458,490	10,249,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	11,925,840	11,606,229
売上原価	9,844,768	9,389,175
売上総利益	2,081,071	2,217,053
販売費及び一般管理費	1,632,384	1,689,377
営業利益	448,687	527,675
営業外収益		
受取利息	974	1,863
受取配当金	2,943	2,709
為替差益	20,406	—
持分法による投資利益	—	1,737
負ののれん償却額	65,487	47,486
助成金収入	2,847	33,814
保険返戻金	1,927	26,295
雑収入	25,027	13,732
営業外収益合計	119,615	127,639
営業外費用		
支払利息	37,893	32,369
為替差損	—	4,055
持分法による投資損失	3,460	—
売上債権売却損	9,277	10,304
雑損失	2,525	1,384
営業外費用合計	53,157	48,114
経常利益	515,144	607,200
特別利益		
固定資産売却益	63	723
投資有価証券売却益	—	1,613
負ののれん発生益	—	26,177
その他	51	139
特別利益合計	114	28,654
特別損失		
固定資産売却損	1,266	416
固定資産除却損	2,743	2,553
投資有価証券売却損	—	22
投資有価証券評価損	—	48,149
減損損失	—	※1 75,572
特別損失合計	4,010	126,714
税金等調整前四半期純利益	511,249	509,141
法人税、住民税及び事業税	154,546	176,482
法人税等合計	154,546	176,482
少数株主損益調整前四半期純利益	356,702	332,658
少数株主利益	3,128	35,763
四半期純利益	353,573	296,895

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	356,702	332,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,550	△12,116
繰延ヘッジ損益	284	546
為替換算調整勘定	△107,928	29,447
持分法適用会社に対する持分相当額	865	△34
その他の包括利益合計	△117,328	17,843
四半期包括利益	239,373	350,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,002	313,789
少数株主に係る四半期包括利益	3,370	36,713

## (3) 連結財務諸表に関する注記事項

(連結損益計算書関係)

## ※1 減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

用途	場所	種類及び減損金額(千円)	
実装事業用資産	三和電子(株) (岡山県津山市)	建物及び構築物	21,459
		機械装置及び運搬具	16,057
		土地	31,813
		その他	181
		合計	69,512
遊休資産	三和電子(株) (岡山県津山市)	機械装置	6,060

当社グループは事業用資産、賃貸資産、遊休資産の区分にて資産のグループ化を行い、事業用資産については、事業区分を基準としてグルーピングを行っております。

また、賃貸資産、遊休資産については個別物件単位にてグルーピングを行っております。

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失75,572千円として特別損失に計上しました。

なお、事業用資産の回収可能価額は使用価値で測定し、遊休資産については、正味売却価額で測定しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。